



島根県知事の溝口善兵衛です。
私が最近、世の中の変化として
感じることは、
大都市に住む若者たちの中に、
田舎で農業をやりたい、
山で働きたい、
漁船に乗って仕事をしたい、
といった人たちが増えていると
いうことです。

島根県は、工業化・都市化がやや遅れたため、
かえって、緑濃い森林や清らかな河川、湖沼、海などが多く残っています。
こうした豊かで美しい自然の中で暮らしたいという若者たちが、
UターンやIターンなどの形で少しずつ島根に来てくれるようになっています。

こうした若者たちと話をすると、
島根に来る前は「農業の技術はどこで教えてくれるのか」、
「住む家はあるのか」など不安がいっぱいだったと言います。
そして今は、「自然に近いところで働けるのが楽しい」、
「子育てもしやすい」と喜んで話してくれます。

そこで私は、島根県庁の農林水産部の若手職員に、
そうした若者たちのためのガイドブックになるような
本をつくってはどうかと提案しました。

5人の職員は半年かけて、
島根に定住した若者たちに会って話を聞き、
自ら写真を撮り、原稿を書き、編集まで手がけて、
地域に溶け込んで生きる若者たちの姿を、
すばらしい本にまとめてくれました。

それがこの「田舎ごこち」です。

どうか、この機会に是非ご一読下さい。



そうだ、あなたも島根^{ココ}で暮らしてみませんか？